

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第81回理事会議事録

日 時:令和6年8月23日(金) 13:00~16:00

開 催:ZOOMによるオンライン開催

出席者:(現地)米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、大植 孝治、富澤 大輔、余谷 暢之、
滝田 順子、後藤 裕明、大平 美紀、
(web)家原 知子、木下 義晶、真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、上原 秀一郎、
櫻井 英幸、竹之内 直子 以上理事
(web)多賀 崇、(現地)滝 智彦 以上監事
足立 壯一(第66回学術集会長)田尻 達郎(第67回学術集会長)

欠席者:野上 恵嗣(以上理事)、松本 公一(第68回学術集会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中17名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事 米田 光宏は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに、入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

2. 常設委員会新体制について

米田理事長より、常設委員会の各担当理事より推薦された委員会構成について資料に示され、今後、事務局より各委員候補者へ諾否伺いの連絡を行い、内諾の取れた委員会より、随時引継ぎなどの準備を進めることが意義なく承認された。

なお、常設委員会の委員長以下構成員については、12月に開催される学術集會時総会の決議をもって就任となる。

3. 疾患委員会の委員選任について

疾患委員会の真部副担当理事より、疾患委員会と疾患小委員会の構成および委員選出などについて見直しを行う旨が提案された。これに伴い、疾患委員会および小委員会のあり方について、引き続き検討を重ねることとなり、併せて、疾患委員会については現委員会構成員を引き続き継続することが意義なく承認された。

4. 理事長諮問委員会について

米田理事長より、理事長諮問委員会の、長期フォローアップ・移行期医療委員会、ゲノム診療・細胞療法委員会、女性医師活躍支援委員会の構成員について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

5. 理事長諮問委員会の新設について

米田理事長より、新たに将来計画委員会の新設について構成員とともに資料に示され、議場にその承認が求められたところ意義なく承認された。

将来計画委員会は、議題によって委員会構成員以外の会員も招聘し、様々な検討事案について協議を行う場とすることとなった。

6. CLIC(緩和ケア研修会)の開催について

米田理事長より、現在実施中である CLIC の開催状況について 2022 年度以降の参加状況などが資料に示された。2024 年度より、小児血液・がん専門医認定新規申請および資格更新の際に CLIC 受講歴が必要となっており、改めて会員への周知を行うこととなった。

7. 株式会社診断と治療社より転載利用料の改定について

診療ガイドライン委員会 盛武担当理事より、株式会社診断と治療社より依頼のあった転載利用料の改定について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

8. 日本小児血液・がん学会/日本サルコーマ治療研究学会ジョイントセッション開催について

米田理事長より、日本サルコーマ治療研究学会より依頼のあった第 67 回日本小児血液・がん学会学術集会(2025 年 11 月 19 日(水)~11 月 21 日(金))でのジョイントセッション開催について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

なお、今後のジョイントセッションなどの受理に関しては、大会長およびプログラム委員会にて検討の上回答を行うこととなった。

9. ノボセブン HI 静注用(エプタコグ アルファ)の在宅自己注射要望書について

保険・診療委員会 後藤担当理事より、本件についての保険・診療委員会にて要望のあった企業とのヒアリングを予定しており、継続審議中である事が報告された。

10. セプローチン(乾燥濃縮ヒトプロテイン C)在宅使用における在宅自己注射指導管理料を求める学会要望書の提出について

保険・診療委員会 後藤担当理事より、本件についての委員会審議結果が資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

11. 「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療ガイドライン(第 3 版)」のリンク申請について

日本癌治療学会宛に企業より申請のあった「成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療ガイドライン(第 3 版)」のリンク申請について検討の結果、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

12. 寄付申し込みについて

米田理事長より、個人からのご付申し込みについて資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。なお、ご寄付を財源とした助成金や基金設立などについて提案され、今後検討を行うこととなった。

13. 特定非営利活動法人臨床研究支援機構 2024 年業務委託契約書について

米田理事長より、本会の疾患登録事業に関わる業務委託について、特定非営利活動法人臨床研究支援機構より例年通り業務委託契約書が議場に示され、その承認が求められたところ意義なく承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の上原理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第66 日本小児血液・がん学会学術集会報告

足立会長より、2024年12月13日(金)~15日(日)に国立京都国際会館にて開催する第66回

学術集会の進捗について、優秀演題選定など行ったことが報告された。また、プログラム委員会で演題応募時のルール設定について検討中であることが報告された。

2)第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

田尻会長より、2025年11月19日(水)～21日(金)に開催される第67回学術集会のテーマについて「全てのこどもの未来のために～For the future of all children」に決定したことが報告された。

3)第68回日本小児血液・がん学会学術集会報告

米田理事長より、2026年開催の学術集会について、2026年11月に東京で開催を検討中であることが報告された。

3.委員会報告

1)利益相反委員会

利益相反委員会 大植副担当理事より、2024年の利益相反申告調査について9月ころより実施する予定であることが報告された。

IV.理事長報告

米田理事長より、例年後援を行っているNPO法人小児がん・まごころ機構主催の「4th WHO GICC in Tokyo 2024」の2024年度後援について、名義後援を受理した旨が報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和6年8月23日

日本小児血液・がん学会 第81回理事会

理事長 米田 光宏

監事 多賀 崇